

平成27年度農山漁村男女共同参画優良活動表彰 受賞者について

平成27年度農山漁村男女共同参画優良活動表彰の受賞個人・組織が決定しましたので、お知らせします。
なお、本表彰式は、毎年3月10日が「農山漁村女性の日」であることに伴い、3月第一週を中心にした「農山漁村女性の日」ウィークのイベントとして開催します。

〈平成27年度農山漁村男女共同参画優良活動表彰〉

1. 目的

農山漁村において女性は、農業就業人口の過半を占めているとともに、起業活動等により、地域において活躍している。しかしながら、農業委員や農協役員等に占める女性の割合は低く、地域の指導的立場への女性の登用は進んでいない。

政府として、「2020年までに指導的地位に女性が占める割合を30%程度」とすることを目指しており、他分野に比べ遅れている農山漁村において、女性の登用を進めることが急務である。

このため、次世代を担う地域リーダーとなることが見込まれている若手女性及び女性の参画を積極的に推進している組織等を表彰することにより、農山漁村における男女共同参画の取組の推進に資するものとする。

2. 受賞個人・組織

I. 次世代を担う若手地域リーダー部門

農林水産大臣賞

・長野県 松本市 原 薫

農林水産副大臣賞

・福岡県 大川市 江崎 都

農林水産大臣政務官賞

・千葉県 君津市 ブルームネット 花育部

II. 組織における女性登用部門

農林水産大臣賞

・宮崎県 都城市 都城市女性農業委員「きらり会」

農林水産副大臣賞

・栃木県 栃木市 栃木市農業委員会

農林水産大臣政務官賞

・長崎県 諫早市 西村 ふじ子

【表彰式等（農山漁村男女共同参画優良活動表彰）】

日時 平成28年3月1日（火）

開会 13:00～13:15

表彰式 13:15～14:00（*農山漁村女性・シニア活動表彰の表彰式を同時に実施予定）

活動報告 14:15～15:15

（農山漁村女性・シニア活動表彰、農山漁村男女共同参画優良活動表彰の大臣賞受賞者5名による）

場所 日本女子大学 新泉山館1階 大会議室

東京都文京区目白台2-8-1 電話 03-3943-3131（大学代表）

主催 農山漁村男女共同参画推進協議会

後援 農林水産省、全国森林組合連合会、全国漁業協同組合連合会、全国農業協同組合中央会

問い合わせ先

農山漁村男女共同参画推進協議会

事務局

(一社) 農山漁村女性・生活活動支援協会内
東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館 4階

担当：齋藤、村上

電話：03-5777-5383

I. 次世代を担う若手地域リーダー部門

賞の名称	都道府県名	受賞者氏名	活動内容
農林水産大臣賞	長野県 松本市	原 薫 <small>はら かおる</small>	(株)柳沢林業取締役である原氏は、地域林業を支える認定事業体として、若手社員及び若い女性を積極的に雇用。5つの経営理念「森づくりに貢献する」、「木と人の関わりを提供する」、「新たなサービスを確立する」、「働きやすい労働環境」、「地域の信頼を永続させる」を掲げ、7つの行動指針「安全第一」、「丁寧で美しい仕事」、「知的・美的労働」、「自社指標」、「男女協働」、「誇りある振る舞い」、「社員の幸せ」を決定し、実行している。26年から地域のカラマツ林業を振興するため素材生産者、建築士、工務店、製材工場、家具工房、行政からなる「ソマミチ プロジェクト」を立ち上げ、「見学ツアー」、銀座や大型商談会でのPRを展開。また、ラジオ、TV、講演等、全国各地で普及活動を実施している。更に獺友会に所属し、シカ等の捕獲により有害鳥獣対策にも尽力。県内外での活動を通じて、林業女子会でも中心的人材として、若手の女性林業者の信頼が高い。現在林政審議会委員。
農林水産副大臣賞	福岡県 大川市	江崎 都 <small>えさき みやこ</small>	平成20年に実家にもどる。米・麦・大豆の土地利用型農業は継がず、21年、父親から農地20aを譲り受けて県認定就農者となり、国の補助事業でパイプハウス15aを新設、JA福岡大城アスパラ部会に所属、22年にアスパラガスを定植し農業経営を開始した。24年に家族経営協定を締結し、農業者年金にも加入。JAや普及センターでの栽培講習会やパソコン簿記研修会等に積極的に参加し、25年、26年と2年連続でJA福岡大城アスパラ部会(部会員80名以上)単収第2位で表彰された。さらに、25年に父親から農地を借りて、新たにパイプハウスを増設し、現在では、5人の女性をパートとして農業経営を展開中。更に27年4月から佐賀大学大学院の「農業技術経営管理士」育成講座を受講し地域のリーダー的農業者を目指している。27年8月に認定農業者となり、同年8月に大川市男女共同参画推進協議会委員に任命された。
農林水産大臣政務官賞	千葉県 君津市	ブルームネット 花育部 <small>はないくぶ</small>	平成21年度より活動を開始している「ブルームネット花育部」は、君津市の特産品であるカラーの生産者団体「ブルームネット」の女性部で構成員は4人。「花育部」が主体となって、年間9～13回花育講座を地域の幼稚園児や小学生を対象に実施しており、5年間に花育講座に参加した子供たちは1,200人を超える。花育部の特長は、①母体となる生産者組織に対して、女性メンバーが花育プロジェクトを提案し、承認を得て自らが主体となって活動を実践していることである。②さらに活動が地域に認められ、地域の2か所の公民館活動の一環として開催されている。③地元JAとも連携し、JA農業祭の場でも取り組み始めるなど、活動が地域に広まりを見せている。④小学生対象から幼稚園児にも花育の対象者が拡大し、幅広く貢献しているなどである。これらを通じて花の消費拡大や子ども達の心を育み、更に後継者育成や地域農業の振興を目指している。

Ⅱ. 組織における女性登用部門

賞の名称	都道府県名	受賞者氏名 受賞組織名	活動内容
農林水産大臣賞	宮崎県 都城市	<small>みやこのじょうし</small> 都城市 <small>じよせい のうぎょう いしん</small> 女性農業委員 <small>かい</small> 「きらり会」	<p>同会は、平成18年に旧1市4町の農業委員会が統合され女性農業委員が5名になったことを契機に発足し現在は7名（選挙委員3名、選任委員4名）。「きらり会」は、女性農業委員の登用活動だけでなく、「きらり会」独自の発案により、【新規就農者の就農を祝う会】を平成18年より開始し、本年で10回目を迎えた。「祝う会」では、新規就農者を手作り料理でもてなし、就農宣言を行い、地域農業の貴重な担い手として市長をはじめ関係者で温かく門出を祝っており、既に100名を越える新規就農者及び配偶者、家族を祝ってきた。都城市女性農業委員「きらり会」の地域に根ざした先駆的な取り組みは、県内の女性農業委員のネットワークにも大きく影響を与えており、女性農業団体で構成する「北諸県農村女性連携会議」の活動も牽引している。</p>
農林水産副大臣賞	栃木県 栃木市	<small>とちぎ</small> 栃木市 <small>のうぎょう いしんかい</small> 農業委員会	<p>栃木市農業委員会の女性農業委員は平成27年9月現在、6名（2名は選挙委員、4名は議会選任委員）。女性農業委員が農地転用許可申請に伴う調査委員長を務めたり、新規就農者の支援を行っている。また、女性農業委員全員で組織する「なでしこ委員会」の活動として、女性農業者を対象とした「熱中症予防教室」「農薬の使い方教室」「肥料の使い方教室」「農業機械安全利用教室」などの講座を実施しており、女性農業者の声を聞くことのできる女性農業委員の存在が教室のテーマに活かされている。さらに、学校と連携し、小学生の農業体験学習として、田植えや稲刈りの際には、農地の提供や農作業の指導に協力したり、地域イベントに地元食材を使ったアイデア料理を提供するなど、子供の食育や地産地消にも力を入れておりその活動はマスコミにも取り上げられ、広告塔となっている。</p>
農林水産大臣政務官賞	長崎県 諫早市	<small>にしむら</small> 西村 ふじ子	<p>西村氏は、平成20年から農業委員となり、24年から県内の女性農業委員46名で構成される「ながさき女性農業委員ネットワーク」の会長として、女性農業者の経営参画と地域参画を促進し、女性農業委員の資質向上やネットワーク化、女性農業委員の登用に尽力。26年7月の統一選挙後は、女性農業委員が38→48人、女性農業委員登用市町数は、県下21のうち18となった。また、26年には、「ながさき女性農業委員ネットワーク」主催で、「ながさき女性農業者の集い」を企画・開催し、関係機関と連携を図り役員と協同作業で地域リーダーや若手女性農業者などに働きかけを行い150名を参集した。また、地場産品を利用した加工・販売活動や小学生へのそば打ち・まんじゅう作り体験学習も実践。農業経営では、10年に家族経営協定を締結し、環境に配慮した土地利用型農業を実践している。</p>